

西ティモールから

A M D A 医師ら帰国

岡山の本部で報告

東ティモールから多数の  
避難民が流入している西テ  
ィモールの難民キャンプに

派遣されていた A M D A  
（アジア医師連絡協議  
会、本部・岡山市）の救  
援チームが五日帰国、岡  
山市榑津の本部で帰国報  
告をした。

帰国報告したのは、広島

市の調整員、栄永唯利さん  
（三九）ら五人。栄永さんは現  
地の厳しい医療状況を報告  
し、「来月以降現地は雨期  
に入るため伝染病の流行が  
心配だ」と、支援の継続の  
必要性を強調した。

日本人救援チームは、医  
師、看護婦ら七人。九月二  
日から二十六日にかけて  
日本を出発。二日まで西テ  
ィモールのケファメナヌに  
ある難民キャンプを中心に  
医療救援活動をした。現

在も、A M D A のインド  
ネシア、パキスタン両国  
人医師五人が活動を続け  
ている。